

28年1月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成28年 1月1日～ 28年1月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
入荷動向	国産材	△ 10.0	△ 20.0	△ 20.0
	外材	0.0	△ 20.0	△ 20.0
在庫動向	国産材	△ 10.0	0.0	10.0
	外材	△ 20.0	0.0	20.0

・国産材ラミナの入荷は3ヵ月連続して減少。外材は1月の横ばいが、2月、3月は減少。

・国産材及び外材ラミナの在庫は1月の減少が、2月は横ばい、3月は増加。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/1月	2月	3月
国産材	△ 10.0	△ 10.0	△ 30.0
欧州材	0.0	△ 25.0	△ 12.5
その他	0.0	0.0	0.0

・国産材ラミナの入荷価格は、やや弱含みで推移。欧州材は1月の横ばいが、2月、3月はやや弱含み。その他は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

- ・外材（特にWW）は、3月の入荷は減少する予定。年度末に在庫が薄くなる予定。
- ・ラミナの入荷は、2月、3月やや減少。在庫は2月、3月と増える。

(ラミナ価格動向)

- ・3月は原価が下がる。
- ・大きな値下がりは見込めない。原木は大きくは値下がりしないと予想する。

28年1月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
生産動向	国産材	△ 8.3	△ 25.0	△ 8.3
	WW集成管柱	16.7	0.0	△ 33.3
	RW集成平角	0.0	△ 12.5	△ 12.5
	米マツ集成平角	50.0	25.0	0.0
	WW集成平角	0.0	△ 50.0	△ 50.0
出荷動向	国産材	8.3	△ 8.3	△ 16.7
	WW集成管柱	16.7	△ 50.0	△ 33.3
	RW集成平角	0.0	△ 16.7	△ 16.7
	米マツ集成平角	50.0	0.0	△ 25.0
	WW集成平角	—	—	—

・国産材集成材の生産は3ヵ月連続して減少。WW集成管柱は1月の増加が、2月は横ばい、3月は減少。RW及びWW集成平角は1月の横ばいが2,3月は減少。米マツ集成平角は1月、2月の増加が、3月は減少。

・国産材集成材の出荷は1月の増加が、2月、3月は減少。WW集成管柱は1月の増加が、2月、3月は減少。RW集成平角は1月の横ばいが、2月、3月は減少。米マツ集成平角は1月の増加、2月の横ばい、3月は減少。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
スギ集成管柱	△ 12.5	△ 37.5	△ 37.5	
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0	
ヒノキ集成土台	50.0	0.0	0.0	
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0	
WW集成管柱	0.0	0.0	0.0	
RW集成平角	0.0	△ 12.5	△ 12.5	
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0	
WW集成平角	—	—	—	
米ヒバ土台角	—	—	—	
カラマツ集成平角	—	—	—	

・スギ集成管柱の出荷価格は弱含みで推移。
・ヒノキ集成柱は3ヵ月連続して横ばい。ヒノキ集成土台は1月の強保合が、2月、3月は横ばい。

・カラマツ集成土台、WW集成平角及び米マツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。RW集成平角は1月の横ばいが、2月、3月はやや弱含みで推移。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)

・国産材は価格に応じた販売となるため生産も減少の見込み。外材はラミナ不足による生産減が見込まれる(WW)。RWは輸入物次第。出荷は、生産動向に準ずる。
・国産材構造用集成材は、12月まで在庫量が適正より少なくなったため、1月はフル生産。2月以降は受注を予想しながらとなるが、例年通り2,3月は少なくなるだろう。米ヒバ集成土台角は、在庫量適正につき、1月も稼働は緩めない。2,3月は減産予想。国産材構造用集成材は、3月までは着工、引渡しの物件がまだピークなので、今月までは忙しい。2,3月は仕事が少なくなると思われるが、柱に関しては7月以降に大分動いて来ると思われるので、今の内からある程度作っておく。土台は少し減産気味に進む。米ヒバ集成土台角の北海道向けは2,3月停滞するだろう。全国的に引き合いの強かったのは1月前半まで。

(構造用集成材出荷価格動向)

・不需要期に伴い下がる可能性は否定できない。
・ヒノキの価格については、集成材はここ半年変わっていない。上げたい時期もあったが、上げなかったもので、これからしばらくの不需要期も出来れば現状維持で行きたい。米ヒバは入荷、出荷とも安定しており、当面このままで行こう。